

別紙2 ペーパレス会議システム機能一覧

機 能 等		
1. タブレット会議システム要件		
動作環境		
1	利用端末OS	タブレット端末はiOS8.0以降で動作すること。
2	管理端末OS	管理端末:HTML5対応ブラウザ(IE8以降、GoogleChrome、Firefox、Safari) サーバOS:WindowsServer2008以降、MacOS X 10.6以降、Linux(カーネル2.6以降)。
接続環境		
3	同時接続数	30台程度
4	会議室数	無制限であること。
セキュリティ		
5	通信経路	SSLによる暗号化通信が可能であること
6	無線通信の暗号化	WPA2/AESによる暗号化ができること。
7	接続を認めていない端末の排除	管理端末で接続端末の指定ができること。
8	利用端末の他のアプリケーションの禁止	本アプリケーション内で保存しているファイルを他のアプリケーションで開けないようにすること。
9	アプリケーション利用の制限	本アプリケーション利用時にIDとパスワードにて認証を行うこと。
10	会議室の傍受対策	IDとパスワードで会議室へのアクセス制御ができること。
11	利用端末内のデータの取り扱い	会議終了後、会議時に利用していたデータが消える(端末には残さない)仕組みを有すること。
2. タブレット会議システム機能要件		
会議資料の閲覧		
12	絞込	会議室単位で絞込ができること。
13	検索	管理端末で文字列入力で検索できること。
ユーザ管理		
14	ユーザ認証	AD連携、LDAP連携が可能なこと。
15	ユーザ登録	CSVデータによる一括取込が可能なこと。
会議準備		
16	管理端末設定	管理端末を使用して会議の準備(参加者設定、資料アップロード)が可能
17	参加者登録	タブレット端末からでも参加者登録が可能なこと。
18	参加者登録	グループでの参加者登録が可能なこと。
19	資料登録	資料ごとにセキュリティ設定が可能なこと。
20	資料登録	資料を日付等で分類し整理することが可能なこと。
会議資料の表示		
21	説明者の画面の同期／非同期	説明者のページ遷移、拡大・縮小、参加者のタブレット端末に同期表示が可能なこと
22	メモ書き機能	メモ書き機能(手書き・文字入力)を有していること。
23	説明者の切り替え	説明者は簡単な操作で切り替えができること。
24	資料参照	説明者の資料とは別の資料を参照可能なこと。
25	拡大・縮小表示	会議資料は拡大・縮小表示ができること。
26	ナビゲート機能	拡大時は資料のどこの箇所を拡大しているのかが視覚的にわかること。
27	ページ送り	フリックやスワイプで素早くページを送れること。
28	フル画面表示	タブレットの全画面を利用したフル画面表示が可能なこと。
会議終了		
29	資料の取り扱い	会議中にメモを書いた資料は、メモ書きしたユーザのみ別PCから閲覧・取り出しが可能なこと。
ゲストアクセス(オプション機能)		
30	ゲストアクセス機能	許可されたユーザのみ、端末登録されていない端末でもユーザ認証のみで利用できること。